

7・9法大デモ貫徹！

安倍政権に大学から

怒りの声を！



7月9日、安倍打倒・武田奪還・学祭規制粉碎を掲げて行われた法大デモ

8・17安倍打倒の日比谷集会へ！

◆7・9法大デモ貫徹！

法大文化連盟と全学連は7月9日、法大包囲デモを闘いました。

今回のデモは第一に、安倍政権による7/1集团的自衛権行使容認の閣議決定への、学生の怒りの行動です。法大当局は、公安警察と結託して集会とデモを監視し、法大生にデモを見せないために窓のブラインドを降ろすなど、醜悪な弾圧体制を敷きました。これこそ、口先では「戦争反対」を唱える法大・田中優子総長体制の正体であり、安倍戦争政治に率先協力する今の大学の姿です。全学連委員長・斎藤郁真君は、「法大の現実を変えることと、戦争を止めることは一つだ！」と真っ向から訴えました。7月は、全国大学キャンパスで「戦争反対・安倍打倒！」の行動が闘われます。7・9法大デモはそのさきがけとして行われました。

第二に、学生弾圧への怒りを示す行動です。文化連盟委員長・武田雄飛丸君への「暴行」によるデッチあげの起訴、そして7月6日にヘイトスピーチへの抗議行動を闘い、「傷害」によるデッチあげで不当に逮捕された学生・A君弾圧への怒りのデモとして行いました。文化連盟書記長・山本一如君がマイクを握り、「武田君への起

訴は学祭破壊とも完全に一体の弾圧だ。法大生はともに声をあげましょう！」と呼びかけました。首都圏新入生も「法政大学は学生弾圧をやめろ！」「何が『自由と進歩』だ！」「田中優子はふざけるな！」と、雨を切り裂く怒りのデモコールを叩きつけました。

◆大学から安倍政権を倒そう！

安倍政権は自らの政策の柱に「大学改革」を位置づけています。学生を「おとなしく」させ、「産官学軍連携」を進めることが狙われています。日々私たち学生にシステマ的にかけている多くの重圧—規制・学費・就活・弾圧—を跳ね飛ばして学生がキャンパスから行動に立ち上がることが安倍政権を倒す最大の力です。

学生の団結した行動を甦らせ、安倍をたおそう！

☆8・17戦争・原発・首切りの 安倍をともに倒そう！大集会

日時：8月17日（日）正午～

場所：日比谷公会堂
（東京・日比谷公園内）



文化連盟

無罪の法政大学文化連盟

メール：bunren08@yahoo.co.jp

HP：http://08bunren.blog25.fc2.com/

学祭規制撤廃！ 学生は団結して声をあげよう！

全学説明会（本日！）で反撃を！

◆学祭規制の強化を許さない！

今年度の自主法政祭では、本当に度し難い規制の強化が狙われています（右記）。この規制に法大当局が学生文化をどのように見ているのかがよく示されています。

学祭の雰囲気盛り上げる最大の要素である、屋台企画縮小とイントレ企画の中止は、事実上「祭り」などやらせない、という意志に満ちています。法大当局は心底私たちのサークル活動や表現活動などどうでもいいと思っているのです。



イントレ企画、「全音協フェスティバル」の様子

そもそも、「スペースがない」という原因になっている、今年度から始まったキャンパス工事自体極めて不当です。わずか5年前に改修した正門前広場を早々に工事し、最後

には55・58年館の解体まで行うこの計画は、多くの教員や法大OB・学生が反対してきたものです。この工事は、



工事中のキャンパス（4月）

大成建設と癒着し、法政大学の「資産価値」を上昇させ、多くの学生を集めて金儲けをしたい法政大学理事会によって強行されたものです。「大学の商業化」の流れの中で、それに追従して利権を漁り、代わりに学生の生活・文化を省みない法大理事会の無意味な工事に怒りの声をあげよう。

学生は団結して声をあげ、工事の中止と共に、自主法政祭のための空間を勝ちとろう。

◆処分と規制は一体。団結して行動しよう

「大学改革」という国策と結びついた学生への管理強化

自主法政祭全学説明会

7月11日（本日） 18:30～受付、19時～開始
外濠校舎・薩睡ホールにて

◇今年狙われている学祭規制◇

- ①屋台企画は同じスペースを2団体が2日ごとで使う
- ②中庭でのイントレ企画はできない
- ③55・58年館の廊下企画は禁止
- ④ビラ貼りスペースも昨年より縮小

は、常に反対する学生および学生団体への弾圧と一体でした。かつて自主法政祭における運営の中心を担い、大学当局と対決して多くの空間・権利を勝ちとってきた文化連盟は非公認化され、現委員長・武田君はデッチあげの「暴行」で起訴されています。法大当局は全面飲酒規制のときには「飲みサー」に対して処分を画策し、学生の「マナー」に問題を矮小化して学生を分断しました。

今こそ学生は団結して声をあげよう。武田君への処分に積極的に協力した学祭実は「学生の代表」を隠れ蓑にして当局の決定を学生に押しつけるだけです。文化連盟と共に、新たな学生の団結体を復活させよう。誇り高い学生文化を、自主法政祭を守り、発展させよう！



2012年10月、「飲酒規制粉碎」をスローガンに文化連盟が呼びかけ、1000人で勝ちとられた学内集会